さんにち NIE ワークシート　　山梨日日新聞

年　　組　名前：

軍用ドローン 高性能化

世界が見える ～31～

宅配や空撮、大型インフラの点検ー。世界のさまざまな分野で無人機ドローンの利用が広がっている。小型化、低価格化でより身近になり、市場規模は2025年に約430億ドル（約４兆５千億円）に達するとの予測もある。他の分野に先駆け活用してきた軍事部門でも高性能化を遂げ、軍用ドローンの保有国は急増している。

雄のハチや羽音を意味する英語「DRONE」が語源とされるドローンは「空飛ぶスマートフォン」とも呼ばれるほどスマホと共通する技術が多く使われている。スマホ関連産業が集まる中国広東省深圳ではドローンメーカーが数多く生まれている。

遠隔操作 変わる戦場／命奪う意識希薄化

軍用ドローンの高度化は世界の戦場を変えつつある。中東イラクでは昨年１月、イラン要人が「地球の裏側」の米国から遠隔操作されたと言われる無人機攻撃で暗殺された。

一方、安価なドローンの拡散で、これまで各国空軍の専売特許だった空爆がゲリラ組織にも可能に。戦闘行為の増加や、無人化により殺傷への抵抗感が希薄になることへの恐れが付きまとう。

甚大な被害も生んでいる。2019年９月、サウジアラビアが有する世界最大規模の石油施設などが攻撃され、同国の日量生産能力の半分が一時まひ。爆薬を積んだ自爆ドローンと巡航ミサイルが、防空網をすり抜けて施設を攻撃したとみられ、慶応大ＳＦＣ研究所の部谷直亮上席所員は「小型で低空飛行するドローンはレーダーに捕捉されにくい」と指摘する。

国際的な規制が求められ、日米などは16年、輸出・使用上の国際基準策定を呼び掛ける共同宣言を発表したが、主要輸出国の中国やイスラエルは加わらなかった。軍事用と一般用の区別がつきにくく、規制が難しい現状もある。

（2021 年 5 月 10 日付 山梨日日新聞 9 面）

問1 宅配や空撮など世界の多くの分野で無人機ドローンの利用が広がっています。ある予測では、2025 年の市場規模(金額)が、日本円でどれくらいに達するとみられていますか。

「　　円」

問2 軍用ドローンを保有する国や組織が急増しています。その理由で正しいものに〇を付けてください。

「　　」① 小型で低空飛行するので、レーダーに捕捉されにくい
「　　」② 国連が、ドローンの軍事利用を推奨した
「　　」③ 安価なドローンの拡散で、ゲリラ組織にも空爆が可能になった
「　　」④ すべての武器のうち、殺傷能力が最も高い
「　　」⑤ 子どもから高齢者まで、誰でも簡単に操作できる

問3 軍用ドローンによって甚大な被害も生まれている。国際的な規制が求められているが、なかなか進まないのはなぜか、2 つ挙げてください。

・

・

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.